

九州・沖縄地区の 「負債 5,000 万円未満」 の倒産 510 件 過去最多更新

集計開始後、過去最多



本件照会先

石倉 達也（調査担当）
帝国データバンク
福岡支店情報部
092-738-7779（直通）
tdb.fukuoka@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/02/24

九州・沖縄地区「負債 5,000 万円未満」倒産動向調査(2025 年)

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

九州・沖縄地区で、「負債 5,000 万円未満」の小規模倒産が、2025 年に 510 件発生し、集計開始以来、過去最多となった 2024 年の 460 件を大幅に上回り、過去最多を更新した。業種別では「サービス業」が 158 件で最多となり、「小売業」が 152 件で続いた。

「負債 5,000 万円未満」の倒産のうち、「新型コロナウイルス関連倒産」は 83 件。また、「返済猶予後倒産」2 件、「公租公課倒産」2 件、「物価高倒産」44 件、「後継者難倒産」25 件、「人手不足倒産」26 件、「ゼロゼロ融資後倒産」54 件発生した。

原材料費やエネルギーコストの増加が収益を圧迫していることに加え、金利上昇による負担増加が追い打ちをかけるなど、小規模倒産は引き続き高水準で推移するものとみられる。

帝国データバンク福岡支店は、九州・沖縄地区における「負債 5,000 万円未満」の倒産発生状況について調査・分析を行った

集計対象：負債 1,000 万円以上・法的整理による倒産

集計期間：2000 年 1 月～2025 年 12 月

「負債 5,000 万円未満」の倒産は 510 件、過去最多を更新

九州・沖縄地区「負債 5,000 万円未満」の倒産が 4 年連続で増加し、2025 年は 510 件となり、集計基準を変更した 2000 年以降で最も多かった 2024 年(460 件)を上回り、過去最多を更新した。また、集計以来、はじめて 500 件を超えた。負債総額は 94 億 9,200 万円となった。

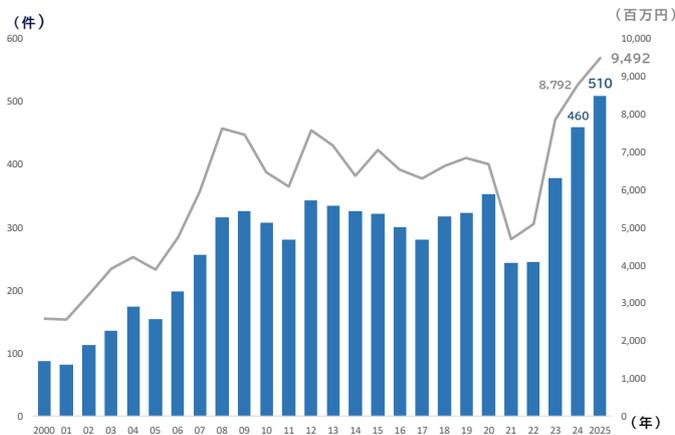
2025 年の倒産を業種別でみると、『サービス業』が 158 件(構成比 31.0%)で最多となり、『小売業』152 件(同 29.8%)が続ぎ、この 2 業種で 6 割超を占めた。次いで、『建設業』81 件(同 15.9%)、『卸売業』56 件(同 11.0%)、『製造業』22 件(同 4.3%)が続いた。

2025 年の「負債 5,000 万円未満」の倒産のうち、「新型コロナウイルス関連倒産」は 83 件。また、「返済猶予後倒産」2 件、「公租公課倒産」2 件、「物価高倒産」44 件、「後継者難倒産」25 件、「人手不足倒産」26 件、「ゼロゼロ融資後倒産」54 件発生した。

「負債 5,000 万円未満」の倒産は、2022 年から増加に転じ、4 年連続で増加するなど、小規模事業者の経営危機が深刻化している。原材料費やエネルギーコストの増加が収益を圧迫していることに加え、金利上昇による負担増加が追い打ちをかけるなど、小規模倒産は引き続き高水準で推移するものとみられる。

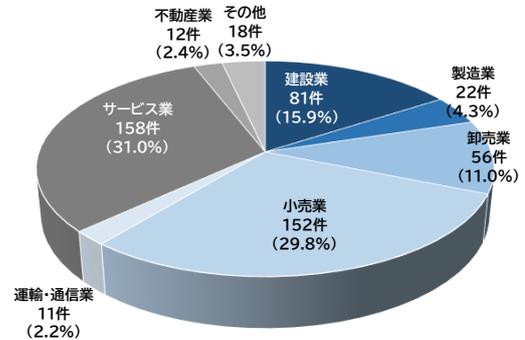
九州・沖縄地区 「5,000 万円未満」倒産動向

「負債 5,000 万円未満」倒産件数・負債額推移



【注】「倒産」：負債 1,000 万円以上の法的整理

「負債 5,000 万円未満」倒産 業種別



「負債 5,000 万円未満」倒産 特殊倒産

